

弓削商船高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	船体運動力学2 (航海)		
科目基礎情報								
科目番号	4A18		科目区分	専門 / 必修				
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1				
開設学科	商船学科		対象学年	4				
開設期	前期		週時間数	2				
教科書/教材	これ一冊で船舶工学入門: 商船高専キャリア教育研究会(海文堂)							
担当教員	湯田 紀男							
到達目標								
力学的な側面から船体運動に検討を加え、操船運用領域の知識および技能習得を目指すとともに、さまざまな環境下での操船方法について理解する。								
ルーブリック								
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安			
船舶の操船に関する基本的な知識を身に付けることができる。	名称・理論・影響等が理解できる。		名称と基本的理論が理解できる。		名称や理論が全く理解できない。			
さまざまな環境における船舶の操船方法に関する演習問題を解答できる。	演習問題を80%以上解答できる。		演習問題を60%以上解答できる。		演習問題が60%未満しか解答できない。			
学科の到達目標項目との関係								
専門 A1 専門 E1								
教育方法等								
概要								
授業の進め方・方法	学習用資料をあらかじめ配布するので、十分な予習の上、授業に臨むこと。資料にはノートするスペースを設けてあるので、授業中に資料に記載してあること以外の点をノートして補完し、自学自習用教材として使用すること。							
注意点	養成施設引当て科目(単位) : 航海コース [捜索・救助(0.2), 操船(0.7), 非常措置(0.1)]							
実務経験のある教員による授業科目								
授業計画								
		週	授業内容			週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	静水中の操船と操縦性能 (操船)			風浪・潮流などの外力の無い場合の操船と操縦性能が理解できる。		
		2週	静水中の操船と操縦性能 (操船)			風浪・潮流などの外力の無い場合の操船と操縦性能が理解できる。		
		3週	平穏な気象・海象のもとでの操船 (操船)			平穏な気象状態における操船方法に加え、浅水影響・側壁影響・風の影響・造波などについて理解ができる。		
		4週	平穏な気象・海象のもとでの操船 (操船)			平穏な気象状態における操船方法に加え、浅水影響・側壁影響・風の影響・造波などについて理解ができる。		
		5週	平穏な気象・海象のもとでの操船 (操船)			平穏な気象状態における操船方法に加え、浅水影響・側壁影響・風の影響・造波などについて理解ができる。		
		6週	錨の使用法 (操船)			錨的使用方法について理解ができる。		
		7週	錨の使用法 (操船)			錨的使用方法について理解ができる。		
		8週	中間試験					
	2ndQ	9週	曳船を使用する操船 (操船)			曳船を使用する操船について理解ができる。		
		10週	荒天の際の操船 (操船)			曳船を使用する操船について理解ができる。		
		11週	超大型船の操船 (操船)			荒天の際の操船について理解できる。		
		12週	特殊操船 (操船) (捜索・救助)			超大型船の操船について理解できる。		
		13週	乗り上げ・浸水時の措置 (非常措置)			転落者救助・遭難者捜索・水先人乗船等特殊な環境での操船が理解できる		
		14週	港内操船 (操船)			転落者救助・遭難者捜索・水先人乗船等特殊な環境での操船が理解できる		
		15週	港内操船 (操船)			転落者救助・遭難者捜索・水先人乗船等特殊な環境での操船が理解できる		
		16週	期末試験					
評価割合								
	定期試験	小テスト	レポート	口答発表	成果物, 実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	20	0	0	0	0	100
知識の基本的な理解	80	0	20	0	0	0	0	100
思考・推論・創造への適応力	0	0	0	0	0	0	0	0
主体性・継続的な学習意欲	0	0	0	0	0	0	0	0
態度・志向性(人間力)	0	0	0	0	0	0	0	0
プレゼンテーション力	0	0	0	0	0	0	0	0